

Pioneer

ドライブレコーダー

ND-DVR1

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。本機の取り付け、ご使用に当たっては、本機を接続する製品の「安全上のご注意」もお読みください。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》
【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600** (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合 **050-3820-7540** (IP電話・有料)
- ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.03

パイオニア株式会社

〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

©パイオニア株式会社 2014-2016
< KFWZ16D > < CYR1161-D >

carrozzeria

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着 (お取り外し・お取り付け) について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません (保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標・著作権など

・microSDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。



本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ 「○○○○」	参照していただきたい箇所を説明しています。
～を選びます ～を設定します	(◀◀) ボタンや (▶▶) ボタンを押して項目の選択や調整値の設定をし、 (▶/II) ボタンを押して確定する操作を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書では、microSDHC メモリーカードを、便宜上「microSD カード」と表記しています。

使用上のご注意

⚠️ ドライブレコーダー機能に関するご注意

- 運転者は走行中に再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- ドライブレコーダーの各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境 (路面状況など) の影響により、正しく作動しない場合があります。
- ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込む場合があります。ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

- 本機は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影できる範囲 (→「仕様」) には限界があります。予め記録される映像で確認の上ご使用ください。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。

⚠️ microSD カードの取り扱いに関するご注意

- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED 式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は G センサー (加速度センサー) で衝撃 (加速度) を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 重大事故などで電源が断たれた場合、撮影できません。また、microSD カード内に記録されているファイルが破損してしまう可能性があります。
- 弊社では、破損したファイルや消去したファイルの復元サービスは行っておりません。
- 本機をご購入後、初めて使用するときは日時の設定を行ってください。日時の設定を行わないで使用すると、実際と異なる時刻が記録されますのでご注意ください。→「日付と時刻の設定」
- microSD カードの保存領域は、撮影種別によって下図のように二分されます。

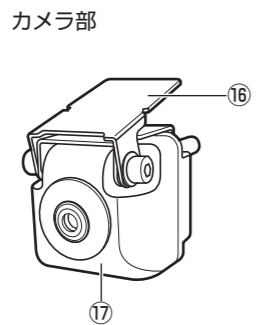
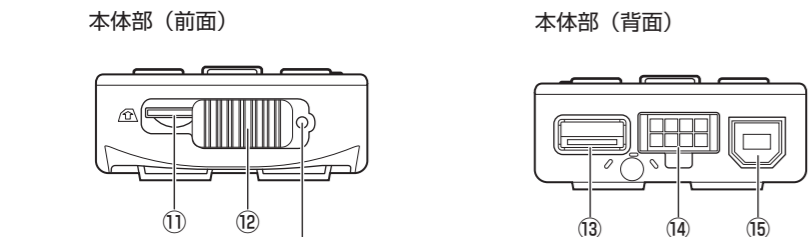
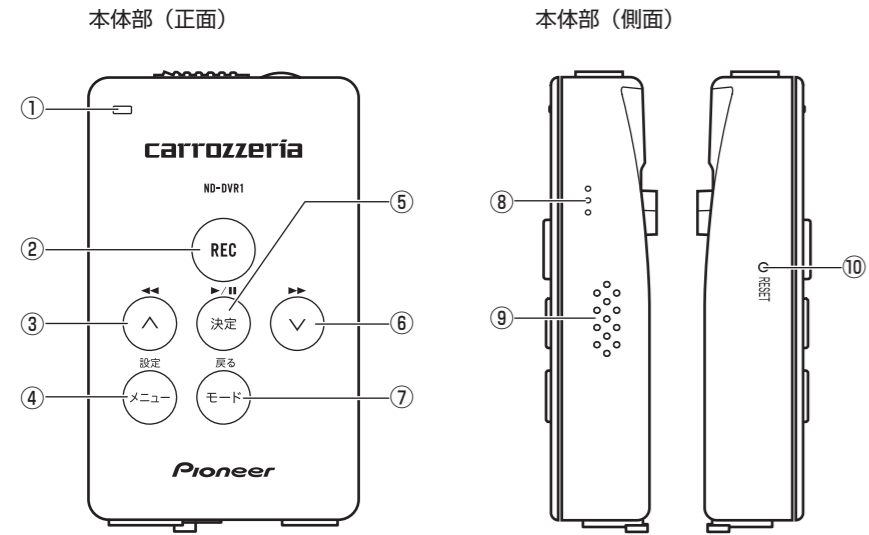
記録	50%未満 保護ファイル*保存領域
	残り容量 連続録画ファイル保存領域

- *自動および手動にて保護された動画ファイルと静止画ファイルが対象となります。保護されたファイルを手動で解除すれば、保護ファイル保存領域の扱いとなりません。
- 保護ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、工場出荷時は、保護ファイルであっても上書き保存されるように設定されていますのでご注意ください。→「保護ファイルの上書き設定」
- 解像度と記録時間の目安

	低画質 (480P)	標準画質 (720P)	高画質 (1080P)
32 GB	約 15.6 時間	約 10 時間	約 4.8 時間
16 GB	約 7.8 時間	約 5 時間	約 2.4 時間
8 GB	約 3.9 時間	約 2.5 時間	約 1.2 時間

- 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。周囲の景色や明るさ、走行状態によって異なります。記録時間は、連続録画ファイルと保護ファイル (イベント撮影) を含めた時間です。
- 動画ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。

各部の名称と主な働き



本体部（正面）

- ① **インジケーター**
本機の状態をLEDで表現します。
- | LED | 状態 |
|---------|----------------|
| 赤点灯 | 撮影中 |
| 赤点滅（短い） | 何らかのエラーが発生したとき |
| 消灯 | 撮影停止中 / 電源オフ |
- 本機の電源をONにすると、各ボタンのLEDが点灯します。
- ② **RECボタン**
手動撮影を行います。
 - ③ **▲ (◀▶) ボタン**
メニューのカーソル操作や動画ファイル再生時の早戻し操作を行います。
 - ④ **ⓘ (設定) ボタン**
メニューの表示やファイルの削除 / 保護操作を行います。
 - ⑤ **▶ (再生) ボタン**
メニューの決定操作や動画ファイルの再生 / 一時停止、静止画ファイルの表示操作を行います。
 - ⑥ **◀▶ (戻る) ボタン**
メニューのカーソル操作や動画ファイル再生時の早送り操作を行います。
 - ⑦ **⏪ (戻る) ボタン**
撮影画面と再生画面の切り換えや、ファイルの先頭に戻る操作を行います。

本体部（側面）

- ⑧ **マイク**
周囲の音声を集音します。
- ⑨ **スピーカー**
本機の状態を音で表現します。
- ⑩ **リセットボタン**
ボールペンの先などで押すと、本機をリセットします。

本体部（前面）

- ⑪ **microSDカードスロット**
microSDカードを挿入します。
- ⑫ **microSDカードスロットカバー**
microSDカードを抜き挿しするときに開きます。カバーが開かれた状態では、本機の電源はOFFとなります。

本体部（背面）

- ⑬ **カメラ接続端子**
付属のカメラユニットを接続します。
- ⑭ **電源 / AV 端子**
付属の映像 / 音声出力ケーブル兼電源ケーブルを接続します。
- ⑮ **ドライブレコーダーリンク用接続端子**
付属のドライブレコーダーリンク用接続ケーブルでパイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットと接続します。

カメラ部

- ⑯ **カメラブラケット**
シールをはがしてフロントガラスに貼り付けます。
- ⑰ **カメラユニット**
映像を撮影します。

microSDカードを取り外せないようにするには、この部分を付属のmicroSDカードスロットカバーロック用ネジ(1.7 mm × 4 mm)で留めてください。

車両に衝撃を受けたときにカバーが外れたり、小さなお子様による誤操作など、意図しない操作によってmicroSDカードスロットカバーが開かないようにロックすることができます。

microSDカードの入れかた・取り出しかた

microSDカードを挿入する

- 1 microSDカードスロットカバーを開けます



- 2 “カチッ”と音がするまでmicroSDカードを差し込みます

端子面を上(ラベル面を下)にしてゆっくりと挿入します。



- 3 microSDカードスロットカバーを閉じます

メモ
● microSDカードスロットカバーは必ず閉じてください。閉じないと本機の電源がONになりません。

microSDカードを取り出す

- 1 microSDカードスロットカバーを開けます



- 2 インジケーターが消灯していることを確認します

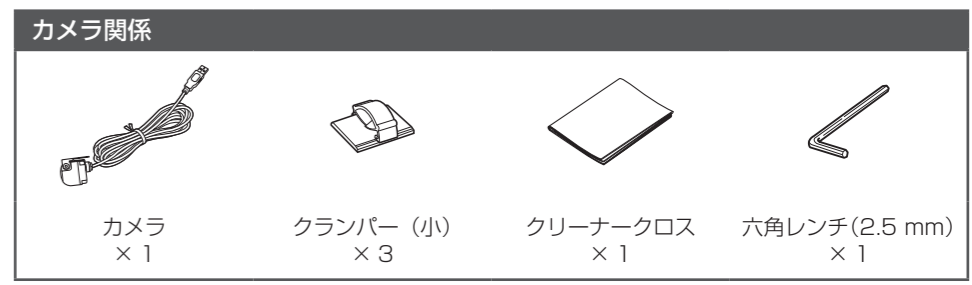
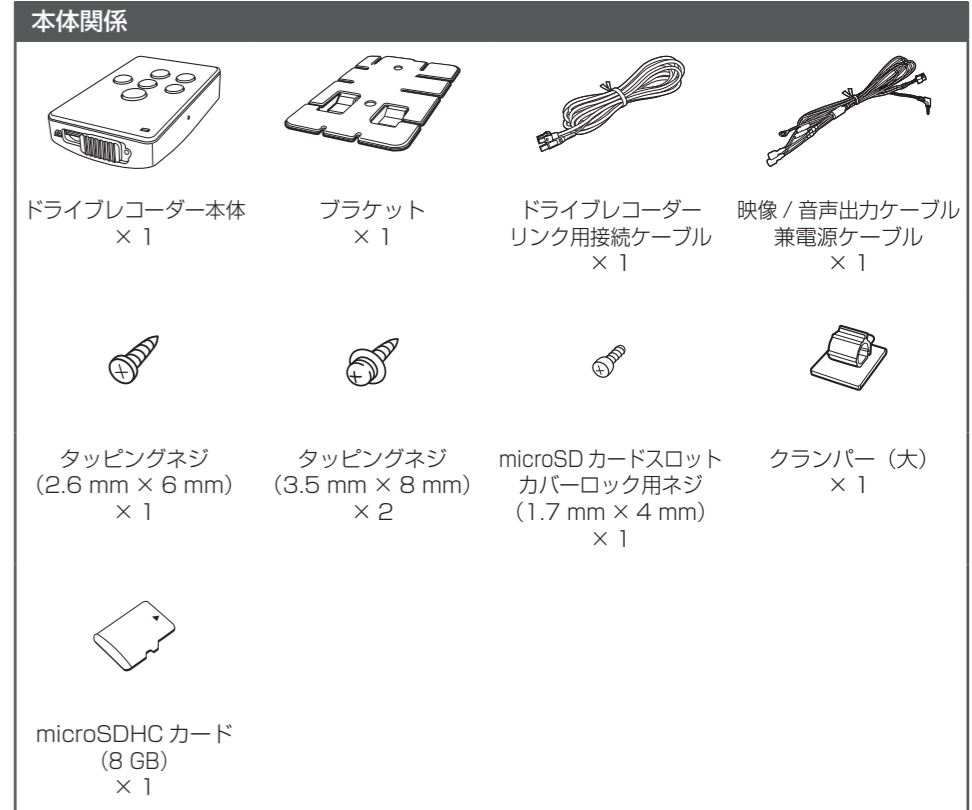


- 3 “カチッ”と音がするまでmicroSDカードを押し込んで離し、microSDカードを取り出します



- 4 microSDカードスロットカバーを閉じます

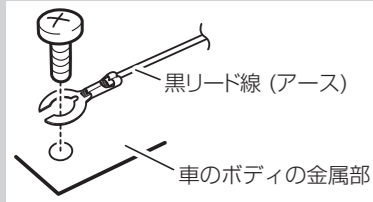
接続・取り付け部品を確認する



接続の前に知ってほしいこと

⚠ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

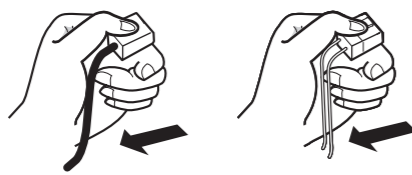


- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず運転に支障のでない場所に本機を取り付けてください。
- 本機は必ず 12 V 車両に取り付けてください。本機は 12 V 専用製品です。

接続端子の脱着のしかた

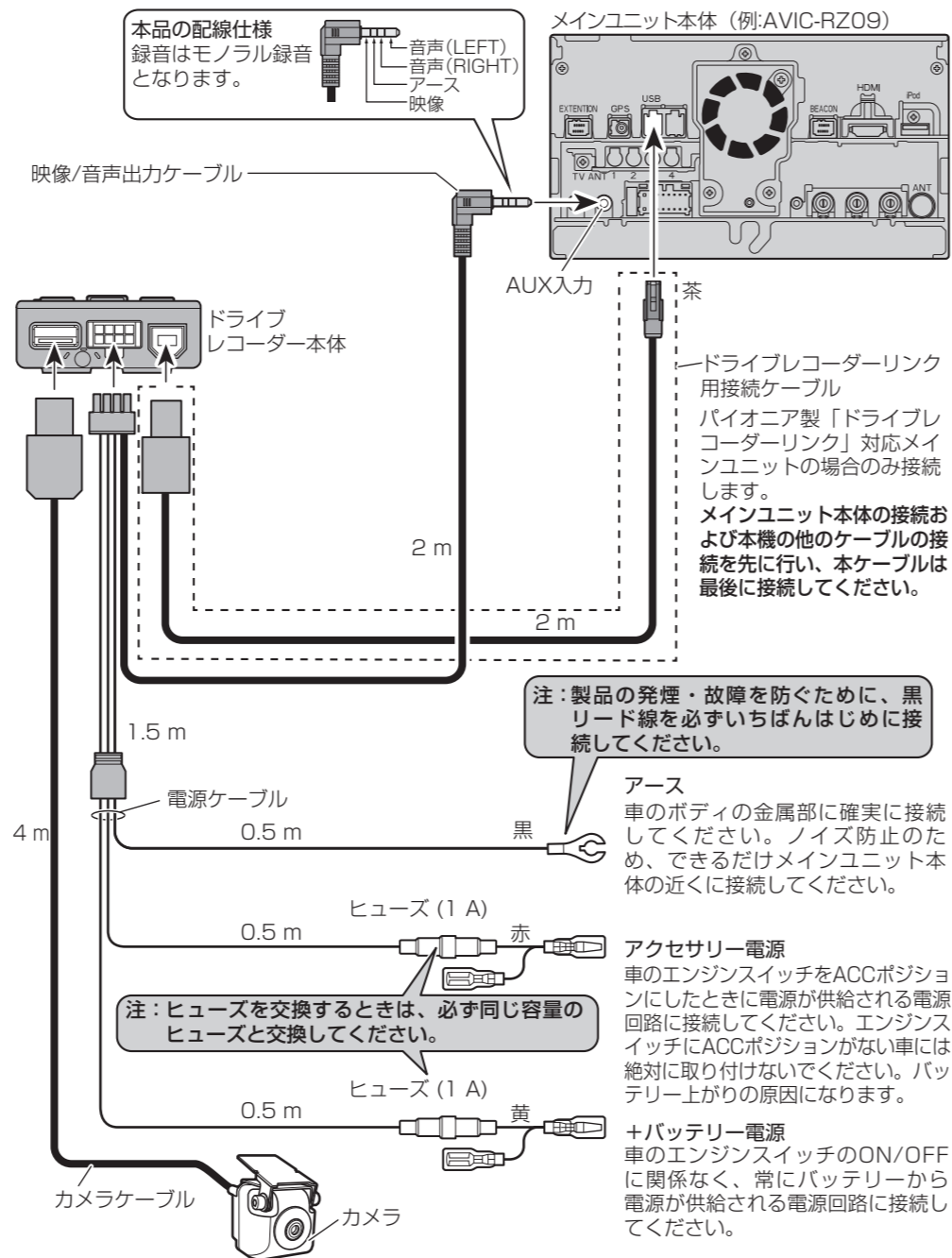
- 接続端子は奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください。また、端子にロックが付いている場合は、“カチッ”と音がするまで押し込んでください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、コネクターの向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ドライブレコーダーリンク用接続ケーブルやカメラケーブルを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。
- 電源ケーブルを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。

コネクタ持ち方例



接続のしかた

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。



取り付けの前に知ってほしいこと

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

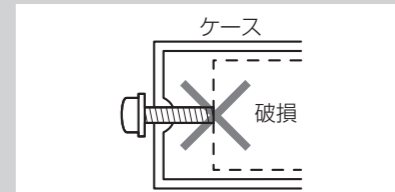
はがれないようにしっかり取り付ける

- 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

本体の取り付け

⚠ 取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けしてください。本機に付属以外のネジを使用すると、破損の原因となります。

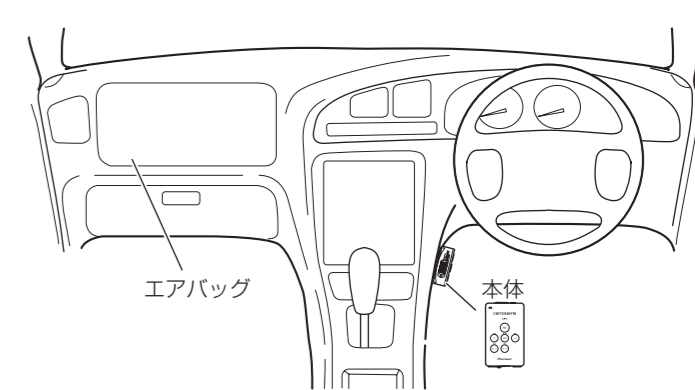


- 本体は、付属のブラケットおよびタッピングネジを使用して、しっかりと車両に固定してください。走行中に落下して、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
* ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所
* ヒーターの吹き出し口の近く
* 床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあるところ

- 雨水や飲料水などの液体がかからない場所に取り付けてください。雨が吹き込んだり、濡れた傘が本機に接触したりして雨水がかかる、もしくは飲料水をこぼすなど、本機に液体がかかると故障する恐れがあります。
- 床面など、ホコリや泥等が混入しやすい場所には取り付けしないでください。
- 緊急用具、ジャッキ、工具、車検証などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けしてください。

- 両面テープは、一度貼り付けると粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずドライブレコーダー本体を仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ブラケットは再利用できません。ドライブレコーダー本体の取り付け位置を移動する場合は、新品のブラケットをご使用ください。

推奨取り付け例



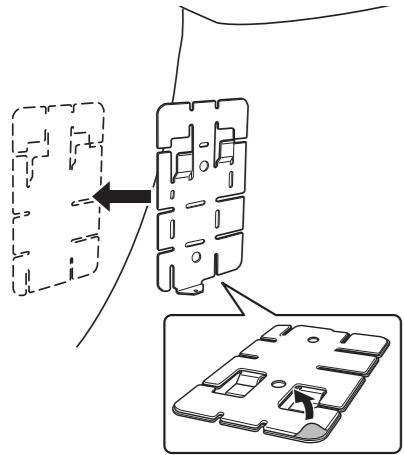
※ 本機にはGセンサーを内蔵しています。シフトレバーなど可動操作によって振動が発生しやすい場所の近くには取り付けしないでください。また、足が触れてしまう場所へも取り付けしないでください。

本体の取り付け

1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

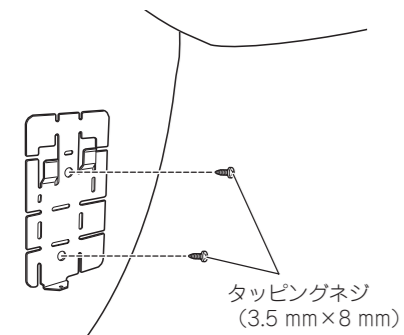
2 ブラケットを取り付けます

ブラケットのシールをはがして、運転に支障がない場所へブラケットをしっかりと取り付けます。



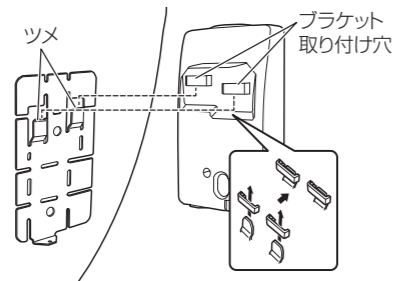
3 タッピングネジで固定します

タッピングネジ (3.5 mm × 8 mm) 2本で、ブラケットを固定します。



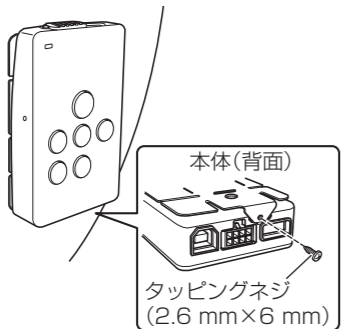
4 本体を取り付けます

本体のブラケット取り付け穴に、ブラケットのツメを差し込みます。



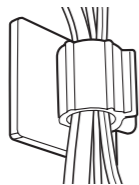
5 本体とブラケットをタッピングネジで固定します

タッピングネジ (2.6 mm × 6 mm) で、本体とブラケットを固定します。



6 クランパーでケーブルを固定します

「接続のしかた」に従って接続を行い、クランパー (大) で、接続ケーブルを固定します。



カメラの取り付け

フロントガラスに取り付けることを推奨します。本書ではフロントガラスに取り付ける説明をしています。

⚠ 取り付け上のご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- カメラは、車室内取り付け専用です。車室外には取り付けしないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 運転の妨げにならない場所、エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所に設置してください。
- フロントガラス以外に取り付ける場合は、設定にて撮影表示を切り替えてください。
→「撮影表示切替の設定」
- フロントガラス以外に取り付ける場合、内装部が映り込む場合があります。
- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- カメラを塞いだり、レンズを汚したりしないでください。

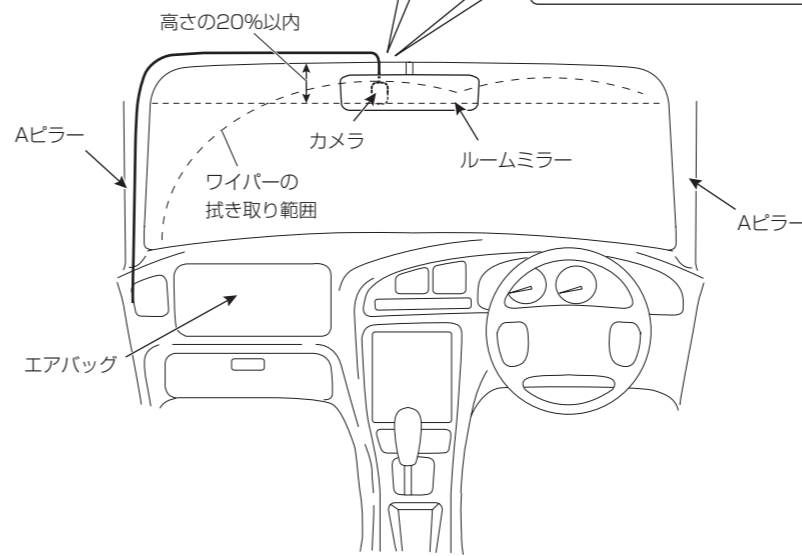
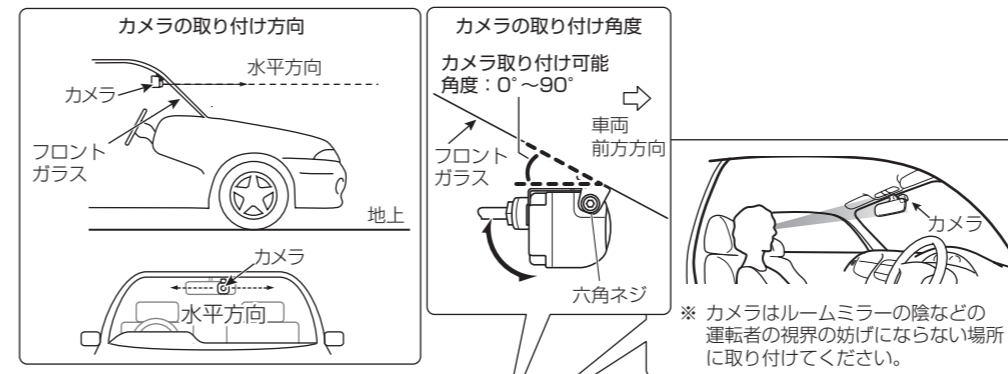
- レンズの近くに反射物を置かないでください。
- カメラは、落としたり、レンズ部分には触れないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。

両面テープは、一度貼り付けると粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずカメラを仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

フロントガラスへの取り付け指定位置

カメラは、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

- フロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置 (ウエザ・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲) あるいは、運転席から見てルームミラーの陰に隠れる位置
- カメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- カメラのレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置
- カメラが前方および左右に対して水平方向を向く位置
- カメラのケーブルが無理なく引き回せる位置
- 取り付け後にカメラの両側面にある六角ネジが回せる位置 (六角ネジを緩め、上下の角度を調整するため)



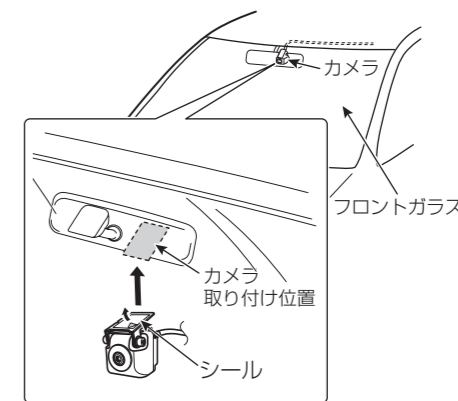
⚠ 必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「フロントガラスへの取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

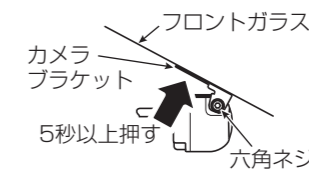
1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

2 カメラを取り付けます

カメラのシールをはがして、フロントガラスの指定位置に取り付けます。



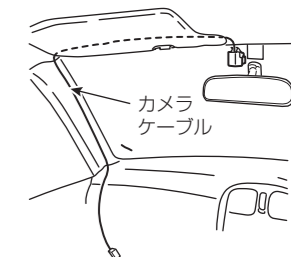
カメラブラケットを指で5秒以上しっかりと押し付けて、確実に取り付けください。



両側面の六角ネジを緩め、カメラが水平方向になるよう上下の角度を調整して六角ネジを締めます。

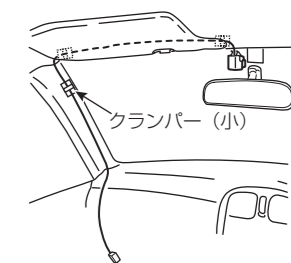
3 ケーブルを引き回します

カメラケーブルを助手席側に引き回します。



4 クランパーでケーブルを固定します

クランパー (小) 3個でカメラケーブルを固定します。



ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にすると起動し、自動的に録画を開始します。（連続録画機能）録画した映像は設定時間単位で 1 ファイルとして microSD カードに保存され、microSD カードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。

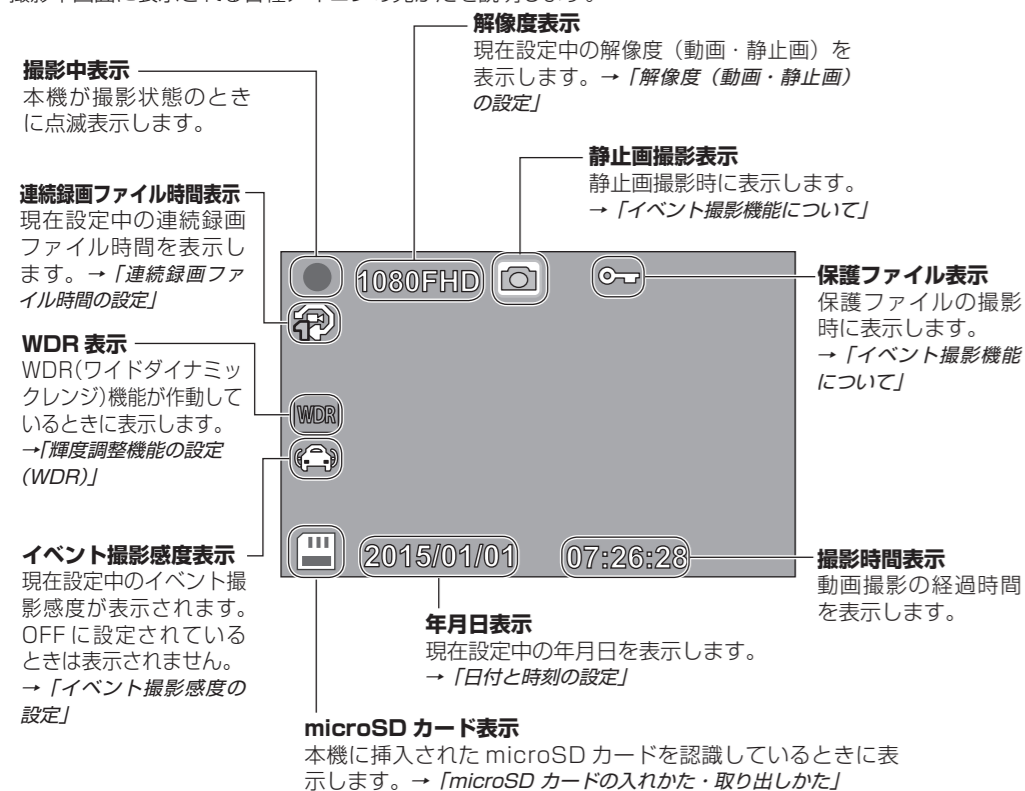
本機の撮影/再生/設定画面は、本機を接続したメインユニットのAUX(外部入力)ソースとして表示します。

メモ

- 録画時間は変更できます。工場出荷時の設定は「1分」です。⇒「[連続録画ファイル時間の設定](#)」
- 手動操作による録画や事故発生時の衝撃、駐車中の振動を検知して自動で録画を開始することもできます。⇒「[イベント撮影機能について](#)」、「[セキュリティ機能について](#)」
- 動画ファイルは MOV 形式で保存されます。また、静止画ファイルは JPEG 形式で保存されます。
- AUX ソースの使いかたについては、メインユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 「ドライブレコーダーリンク」の詳細は、パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットのユーザーズガイドをご確認ください。

基本的な画面の見かた

撮影中画面に表示される各種アイコンの見かたを説明します。



画面の切り換えかた

本機は、撮影画面と再生画面を切り換えて使用します。

⊖(戻る)ボタンを押すごとに、撮影画面と再生画面が切り換わります。

画面(状態)と操作ボタンの関係について

画面(状態)によって、本機の各ボタンは下表のように動作します。

—:無効

ボタン	REC	⏪	⏩	決定	メニュー	モード
画面(状態)	REC	⏪	⏩	決定	メニュー	モード
microSD カードスロットカバーが開いた状態	—	—	—	—	—	—
撮影画面(連続録画)	イベント撮影(手動)	—	—	—	設定メニュー表示	再生画面(サムネイル表示)に切り換え
撮影画面(イベント撮影)	イベント撮影(手動)	—	—	—	設定メニュー表示	再生画面(サムネイル表示)に切り換え
撮影画面(セキュリティ機能)	—	—	—	—	—	—
設定メニュー	イベント撮影(手動)	カーソル移動	カーソル移動	決定	戻る	戻る
再生画面(サムネイル表示)	イベント撮影(手動)	カーソル移動	カーソル移動	決定	—	撮影画面(連続録画)に切り換え
再生画面(フルスクリーン表示)	イベント撮影(手動)	前のファイルに移動	次のファイルに移動	再生	消去/保護メニュー表示	戻る
再生画面(動画再生中)	イベント撮影(手動)	早戻し	早送り	一時停止	—	戻る
再生画面(静止画表示中)	イベント撮影(手動)	前のファイルに移動	次のファイルに移動	—	消去/保護メニュー表示	戻る

メモ

- 撮影画面以外を表示しているときは、連続録画は行われません。

イベント撮影機能について

■手動で撮影する(手動撮影)

連続録画中にⓇボタンを押すと、ボタンを押した時点から 20 秒間の動画と直前までに撮影された連続録画の動画が、保護ファイルとして記録されます。

■衝撃を検知して自動で撮影する(自動撮影)

他の車との接触事故が発生した場合など、本機が衝撃を検知した時点から 20 秒間の動画と直前までに撮影された連続録画の動画が、保護ファイルとして記録されます。

メモ

- 撮影画面以外を表示中にⓇボタンを押す、または衝撃を検知された場合は、静止画とその時点から 20 秒間の動画のみが保存されます。
- イベント録画で記録された動画ファイルは microSD カード内の「RO」フォルダに保存されます。パソコンで動画ファイルを確認する場合は、「RO」フォルダを開いてください。
- 直前までに撮影されたファイルが 1 秒~ 19 秒分の場合は、さらにその前の連続録画ファイル全体を保護ファイルとして記録します。その際、直前までに撮影された画ファイルは microSD カード内の「movie」フォルダに保存されます。パソコンで動画ファイルを確認する場合は、「movie」フォルダを開いてください。
- イベント撮影開始時は、同時に静止画も保護ファイルとして記録されます。
- イベント撮影中にⓇボタンを押す、または衝撃を検知されると、再度静止画が記録され、その時点から動画が最大 20 秒間延長して追加されます。
- 1 つの動画ファイルで延長記録できるのは最大 3 回までです。4 回目からは新しいファイルとして記録されます。
- 自動撮影機能は、OFF に設定することもできます。また、衝撃を検知する感度も調節できます。→「[イベント撮影感度の設定](#)」
- microSD カード内の保護ファイル保存領域が足りなくなると、工場出荷時は、保護ファイルであっても上書きするよう設定されています。→「[保護ファイルの上書き設定](#)」

セキュリティ機能について

エンジンをオフ（ACC OFF）にした駐車中に車をぶつけられた場合など、本機が振動を検知した時点から最大 5 分間の動画が、自動的に記録されます。

セキュリティ機能が作動すると、次回メインユニット起動時に通知メッセージと通知音でお知らせします。パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットに接続している場合は、画面を切り替えることなく通知メッセージを確認することができます。

メモ

- セキュリティ機能の録画時間は、「セキュリティ停止:乗車時」で設定した時間になります。→「[セキュリティ停止:乗車時の設定](#)」
- 本機能は、OFF に設定することもできます。また、振動を検知する感度も調節できます。→「[セキュリティ撮影感度の設定](#)」
- 振動を検知してから録画が開始されるまで数秒間かかります。
- セキュリティ機能をお使いになる場合は、セキュリティ機能の起動時間と停止時間を設定することをお勧めします。設定を行わないと、エンジンをオフ（ACC OFF）にした直後の降車振動や、エンジンをかける（ACC ON）前の乗車振動を検知し、不要な保護ファイルが記録されてしまいます。→「[セキュリティ起動:降車時の設定](#)」、「[セキュリティ停止:乗車時の設定](#)」
- セキュリティ機能で撮影中に再度振動を検知すると、動画の記録を最大 20 秒間延長します。
- セキュリティ機能で記録された動画ファイルは microSD カード内の「SECURITY」フォルダに保存されます（ファイル名の頭には「S」が付きます）。パソコンで動画ファイルを確認する場合は「SECURITY」フォルダを開いてください。

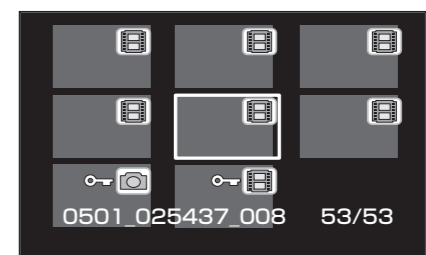
撮影したファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生や静止画ファイルの表示ができます。再生画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。また、再生画面表示中に振動を検知した場合は、検知した時点からイベント撮影を開始します。

1 撮影画面で⊖(戻る)ボタンを押します

サムネイル表示に切り換わります。

2 再生したいファイルを選びます



動画ファイルには⏪、静止画ファイルには⏩、保護されたファイルには🔒が表示されます。

フルスクリーン表示に切り換わります。例) 動画ファイル選択時



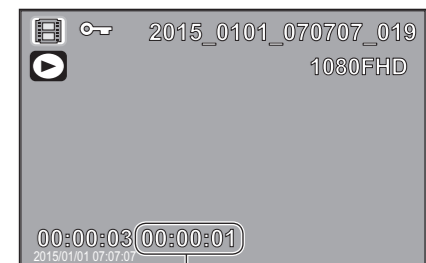
記録時間

フルスクリーン表示の状態では⏪(⏪)ボタン/⏩(⏩)ボタンを押して、再生するファイルを切り換えることもで

きます。動画ファイルを選択した場合のみ、手順 4 に進んでください。

3 再生ボタンを押します

選んだファイルを再生します。



再生経過時間

メモ

- 動画ファイル再生中に⏪(⏪)ボタン/⏩(⏩)ボタンを押すと、早送りまたは早戻しを行います。⏪(⏪)ボタン/⏩(⏩)ボタンを押すごとに、早送り/早戻しの速度が 2 倍速→ 4 倍速→ 8 倍速に変わります。
- パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応ナビゲーションに接続している場合は、緯度経度、方位角、時速の情報も取得され、再生画面で確認できます。
- 実際の色味と異なって表示されたり、はっきりと映像が確認できなかったりした場合は、お手持ちのパソコンでファイルを再生してください。

ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

撮影したファイルを消去する

撮影した動画ファイルや静止画ファイルを消去できます。

1 フルスクリーン表示画面で (設定) ボタンを押します

→「撮影したファイルを再生する」手順 1～2

2 [消去] を選びます



3 消去方法を選びます



[このファイルを消去する] 表示中のファイルを消去します。
[全ファイルを消去する] 全てのファイルを消去します。

4 [実行] を選びます

- 中止する場合は、[キャンセル] を選びます。
- 保護ファイルは削除されません。保護ファイルを削除したい場合は、保護を解除してください。

撮影したファイルを保護する

連続録画機能で撮影した動画ファイルや静止画ファイルを保護できます。保護されたファイルは、連続録画機能で撮影されたファイルで上書きされることはありません。ファイルの保護を解除することもできます。

1 フルスクリーン表示画面で (設定) ボタンを押します

→「撮影したファイルを再生する」手順 1～2

2 [保護] を選びます



3 保護方法を選びます



[保護する] 表示中のファイルを保護します。
[保護を解除する] 表示中のファイルの保護を解除します。
[全ての保護を解除する] 全てのファイルの保護を解除します。

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

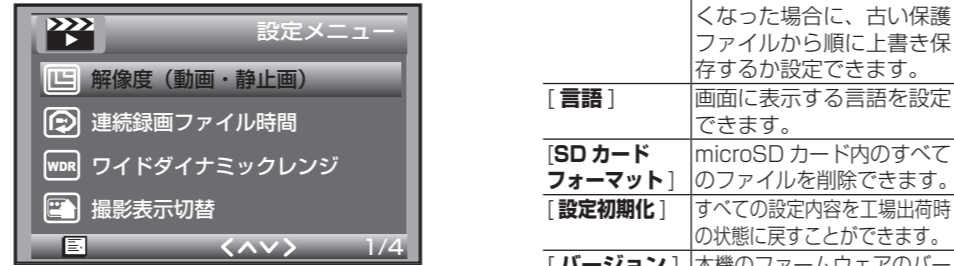
本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。この他、microSD カードのフォーマットや本機のバージョン情報を確認することもできます。設定画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

- **メモ**
- 設定メニューは、録画面の場合のみ表示できます。→「画面の切り換えかた」

1 撮影画面で (設定) ボタンを押します

設定メニューが表示されます。

2 設定項目を選びます



[解像度(動画)] 動画撮影時の解像度/品質を設定できます。

[連続録画ファイル時間] 連続録画機能による動画ファイル撮影時の1ファイルあたりの録画時間を設定できます。

[ワイドダイナミックレンジ] 明暗の差が大きい状況などで、自動で調整を行う機能の設定ができます。

[撮影表示切替] カメラの取り付け位置や用途に応じた画像の反転、回転を設定できます。

[日時設定] 日付と時刻を設定できます。

[セキュリティ停止:乗車時] 車のエンジンをオン(ACC ON)にした時点から、一定時間前までの間にセキュリティ機能を停止します。

[セキュリティ起動:降車時] 車のエンジンをオフ(ACC OFF)にした時点から、一定時間経過後にセキュリティ機能が作動するように設定できます。

[音声録音] 動画ファイル撮影中に本機周辺の音声も記録するか設定できます。

[操作音] ボタンを押したときに操作音を鳴らすか設定できます。

[セキュリティ撮影感度] セキュリティ機能の使用・不使用、および衝撃検知の感度を設定できます。

[イベント撮影感度] イベント撮影機能の使用・不使用、および衝撃検知の感度を設定できます。

[保護ファイルの上書き] microSD カード内の保護ファイル保存領域が足りなくなった場合に、古い保護ファイルから順に上書き保存するか設定できます。

[言語] 画面に表示する言語を設定できます。

[SDカードフォーマット] microSD カード内のすべてのファイルを削除できます。

[設定初期化] すべての設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

[バージョン] 本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。

3 設定値を選びます



4 (戻る) ボタンを押します

設定を終了して、撮影画面に戻ります。

解像度(動画・静止画)の設定

1 設定メニューで [解像度(動画・静止画)] を選びます

2 解像度/品質を選びます



[1920X1080p(高画質)]* 高画質で動画・静止画を撮影します。

[1280X720p(標準画質)] 標準画質で動画・静止画を撮影します。

[848X480p(低画質)] 低画質で動画・静止画を撮影します。

*工場出荷時の設定です。

解像度と録画時間の目安は次の通りです。

	低画質 (480P)	標準画質 (720P)	高画質 (1080P)
32 GB	約 15.6 時間	約 10 時間	約 4.8 時間
16 GB	約 7.8 時間	約 5 時間	約 2.4 時間
8 GB	約 3.9 時間	約 2.5 時間	約 1.2 時間

記録時間は、連続録画ファイルと保護ファイル(イベント撮影、セキュリティ機能)を含めた時間です。

3 (戻る) ボタンを押します

連続録画ファイル時間の設定

1 設定メニューで [連続録画ファイル時間] を選びます

2 録画時間を選びます



[1分]* 1ファイル1分間として録画します。

[3分] 1ファイル3分間として録画します。

[5分] 1ファイル5分間として録画します。

*工場出荷時の設定です。

3 (戻る) ボタンを押します

- **メモ**
- 連続録画ファイルは、連続録画ファイル保存領域内で日時の古いものから上書き保存されます。

輝度調整機能の設定(WDR)

1 設定メニューで [ワイドダイナミックレンジ] を選びます

2 [OFF] または [ON] を選びます



[OFF] ワイドダイナミックレンジ機能は作動しません。

[ON]* ワイドダイナミックレンジ機能が作動します。

*工場出荷時の設定です。

3 (戻る) ボタンを押します

撮影表示切替の設定

1 設定メニューで [撮影表示切替] を選びます

2 設定値を選びます



[デフォルト]* 標準画像です。

[上下回転] 標準画像に対し、180°回転した画像です。

[左右反転] 左右反転画像です。

[上下回転・左右反転]* 標準画像に対し、左右反転および180°回転した画像です。

*工場出荷時の設定です。

設定値を選ぶと、撮影画面が表示されます。

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

日付と時刻の設定

1 設定メニューで[日時設定]を選びます

2 年月日、時刻、表示順序を設定します



Ⓜ (▶/⏸) ボタンを押すごとに、年→月→日→時→分→秒→表示順序 (YY/MM/DD / MM/DD/YY / DD/YY/MM) の順に切り換わります。

3 表示順序まで設定したら⏪(戻る)ボタンを押します

4 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応ナビゲーションに接続した場合は、ナビゲーションのGPS機能により、自動的に年月日、時刻の情報が取得されます。

セキュリティ停止：乗車時の設定

1 設定メニューで[セキュリティ停止：乗車時]を選びます

2 設定値を選びます



[OFF] 車のエンジンをオン (ACC ON) にした時点でセキュリティ機能を停止します。

[1分前]* 車のエンジンをオン (ACC ON) にする1分前の時点でセキュリティ機能を停止します。

[3分前] 車のエンジンをオン (ACC ON) にする3分前の時点でセキュリティ機能を停止します。

[5分前] 車のエンジンをオン (ACC ON) にする5分前の時点でセキュリティ機能を停止します。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- セキュリティ機能が停止してから車のエンジンをオン (ACC ON) するまでの間に衝撃を検知した場合は、連続録画と同様に保護されない動画ファイルとして保存されます。また、次回メインユニット起動時の通知はありません。
- セキュリティ機能の録画時間は、「セキュリティ停止：乗車時」で設定した時間になります。

セキュリティ起動：降車時の設定

1 設定メニューで[セキュリティ起動：降車時]を選びます

2 設定値を選びます



[OFF] 車のエンジンオフ (ACC OFF) と同時にセキュリティ機能が作動します。

[1分後]* 車のエンジンをオフ (ACC OFF) にした1分後にセキュリティ機能が作動します。

[3分後] 車のエンジンをオフ (ACC OFF) にした3分後にセキュリティ機能が作動します。

[5分後] 車のエンジンをオフ (ACC OFF) にした5分後にセキュリティ機能が作動します。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- 車のエンジンオフ (ACC OFF) からセキュリティ機能が作動するまでの間は連続録画による撮影を行います。
- 車のエンジンオフ (ACC OFF) からセキュリティ機能が作動するまでの間はイベント録画は行われません。

音声録音の設定

1 設定メニューで[音声録音]を選びます

2 [OFF] または [ON] を選びます



[OFF] 動画撮影時に音声は含まれません。
[ON]* 動画撮影時に音声も含まれます。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- 録音は、モノラル録音になります。

操作音の設定

1 設定メニューで[操作音]を選びます

2 [OFF] または [ON] を選びます



[OFF] 操作音は鳴りません。
[ON]* 操作音が鳴ります。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- REC ボタンで手動撮影を開始した時は、操作音が鳴ります。

セキュリティ撮影感度の設定

1 設定メニューで[セキュリティ撮影感度]を選びます

2 設定値を選びます



[OFF] セキュリティ機能は作動しません。(手動は除く)

[低感度] 低感度で振動を検知します。

[標準]* 標準感度で振動を検知します。

[高感度]* 高感度で振動を検知します。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- 必要以上に撮影されてしまう場合は設定値を変更してください。

イベント撮影感度の設定

1 設定メニューで[イベント撮影感度]を選びます

2 設定値を選びます



[OFF] イベント撮影機能は作動しません。(手動は除く)

[低感度] 低感度で衝撃を検知します。

[標準]* 標準感度で衝撃を検知します。

[高感度] 高感度で衝撃を検知します。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

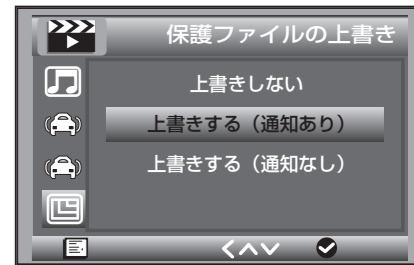
メモ

- 必要以上に撮影されてしまう場合は設定値を変更してください。

保護ファイルの上書き設定

1 設定メニューで[保護ファイルの上書き]を選びます

2 設定値を選びます



[上書きしない] 保護ファイルや静止画ファイルの上書き保存は行いません。

[上書きする(通知あり)]* 保護ファイルや静止画ファイルの上書き保存を行います。

[上書きする(通知なし)] 保護ファイルや静止画ファイルの上書き保存を行います。microSDカード内の保護ファイル保存領域が足らなくなり上書きする場合でも通知は行いません。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る)ボタンを押します

メモ

- 上書きの対象となる保護ファイルは以下のとおりです。
 - イベント撮影機能で記録されたファイル
 - 手動で保護を設定したファイル
 - 静止画ファイル

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

- 保護されたファイルを手動で解除した場合、保護ファイルの扱いとなりません。
→「**撮影したファイルを保護する**」
- 「上書きする」に設定した場合、動画ファイルは記録日時が古いファイルから順に上書き保存されます。
- 「上書きする（通知なし）」に設定した場合は、microSD カード容量について以下の通知は行われません。
 - 通知音
 - インジケータ表示
 - メッセージ表示
 - パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットからの通知

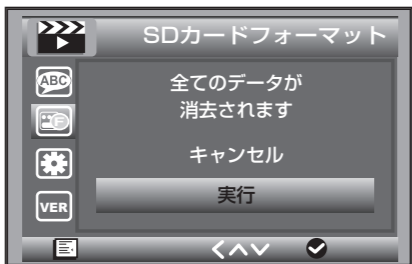
microSD カードのフォーマット

1 設定メニューで [SD カードフォーマット] を選びます

2 [SD カード] を選びます



3 [実行] を選びます



メモ

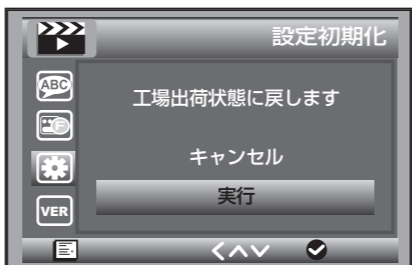
- microSD カードのフォーマットを中止する場合は、[**キャンセル**] を選びます。
- 保護されたファイルも消去されます。

4 ⏪(戻る) ボタンを押します

設定を初期化する

1 設定メニューで [設定初期化] を選びます

2 [実行] を選びます



メモ

- 設定初期化を中止する場合は、[**キャンセル**] を選びます。

3 ⏪(戻る) ボタンを押します

本機のバージョン情報を確認する

1 設定メニューで [バージョン] を選びます

2 バージョン情報を確認します



3 ⏪(戻る) ボタンを押します

メッセージ表示について

本機および本機を接続したパイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応ナビゲーションでは、以下のメッセージやエラーコードが表示されます。また、通知音にてお知らせいたします。

本機

メッセージ（通知音）	原因	対処・内容
G センサーが異常です（ピーピーピーピー）	G センサーに不具合があります。	お買い上げの販売店にご相談ください。
Please Plug in camera	カメラが本体から外れています。	カメラの接続を確認してください。
ドライブレコーダーリンクが使用できません（ピーピーピーピー）	何らかの原因で本機と「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットの間の認証が失敗した可能性があります。	接続状態を再確認してください。→「 接続のしかた 」 メッセージが消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
SD カードがありません（ピーピーピーピー）	本機に microSD カードが挿入されていません。	microSD カードを挿入してください。
SD カードを交換してください（ピーピーピーピー）	microSD カードに不具合があります。	別の microSD カードに取り換えるか、microSD カードのフォーマットを行ってください。→「 microSD カードのフォーマット 」
保護ファイルの保存領域が上限に達しました。*（ビビビビピー×2回）	microSD カードの空き容量が無くなりました。	フォーマットすると、microSD カード内の全てのファイルが消失します。必ずバックアップを行ってください。
保護ファイルの保存領域が少なくなっています*（ビビビビピー×2回）	microSD カードの保護ファイル保存領域の容量が少なくなっています。	保護ファイルの上書き設定を確認してください。→「 保護ファイルの上書き設定 」
ACC-OFF 中に振動を検知しました（ビビビビビビ×2回）	ACC-OFF 中に本機が振動を検知しました。	振動を検知した後の ACC-ON 時に通知されます。撮影画像を確認できます。

パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応ナビゲーション

エラーコード	原因	対処
E001*	microSD カードの容量が足りません。	別の microSD カードに取り換えるか、microSD カードのフォーマットを行ってください。→「 microSD カードのフォーマット 」
E002	microSD カードに不具合があります。	フォーマットすると、microSD カード内の全てのファイルが消失します。必ずバックアップを行ってください。
E003	G センサーに不具合があります。	お買い上げの販売店にご相談ください。

その他のメッセージについては、パイオニア製「ドライブレコーダーリンク」対応メインユニットのユーザーズガイドをご確認ください。
* 上書きする（通知なし）に設定した場合は、通知されません。→「**保護ファイルの上書き設定**」

メモ

- エラー検知のタイミングによっては、メッセージと通知音が実際の症状と異なる可能性があります。また、複数のエラーが同時に発生した場合は、通知されないメッセージと通知音があります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
記録されているはずのファイルが見当たらない。	microSD カード内の保存領域が足りなくなり、記録されたファイルが古いものから順に上書き保存されています。	連続録画やセキュリティ機能で記録されたファイルについては、上書きしたくないファイルを保護してください。→「 撮影したファイルを保護する 」 イベント撮影機能で記録された保護ファイルおよび静止画ファイルについては、上書き設定を確認してください。→「 保護ファイルの上書き設定 」
車に乗るときや降りるときに、勝手に保護ファイルが作られる。	セキュリティ機能が使用状態でセキュリティ停止時間と起動時間の設定が OFF になっている、または設定が適切でないため、車に降りる際の振動が検知されています。	セキュリティ機能を使用する際は、セキュリティ停止時間と起動時間の設定も行ってください。→「 セキュリティ停止：乗車時の設定 」、「 セキュリティ起動：降車時の設定 」
駐車中に記録されたファイルに、異常のない映像が多い。	セキュリティ機能の使用状況や振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	・セキュリティ機能の設定を再確認してください。→「 セキュリティ撮影感度の設定 」 ・セキュリティ機能の感度を調整しても症状が改善されない場合は、本体の取り付け位置を変更してください。
駐車中に車にぶつけられたのに動画ファイルが作られていない。	セキュリティ機能の使用状況や衝撃検知の感度が適切では無い可能性があります。	イベント撮影機能の設定を再確認してください。→「 イベント撮影感度の設定 」
運転中に事故にあったが動画ファイルが作られていない。	音声録音の設定が OFF の可能性があります。	音声録音の設定を再確認してください。→「 音声録音の設定 」

仕様

◆本体部

出力端子：4 極ミニピンジャック（同梱）、ドライブレコーダーリンク接続ケーブル（同梱）
記録媒体：microSDHC カード Class4 以上（8 GB ~ 32 GB）動作確認用 microSD 8 GB 同梱
画素圧縮方式（動画）：MOV (H.264 動画圧縮規格)
画素圧縮方式（静止画）：JPEG
フレームレート：27.5 fps
最大録画可能時間（8 GB の場合）：約 1.2 時間（1080P）、約 2.5 時間（720P）、約 3.9 時間（480P）
消費電流：190 mA（12 V 専用）、セキュリティ機能待機時：約 1 mA
取付寸法（W × H × D）：55 mm × 90 mm × 20 mm
質量：66 g（ブラケット、接続ケーブル等を除く）

センサー：3 軸 G センサー内蔵
保存温度：-30 ℃ ~ +85 ℃
使用温度範囲：-20 ℃ ~ +60 ℃
その他：音声録音用マイク内蔵、録画音声用外部出力端子（ミニピンジャック×1）

◆カメラ部

撮影素子：CMOS センサー
画素数：207 万画素
画角：水平 120 度 垂直 63 度 対角 145 度
F 値：F2.0
取付寸法（W × H × D）：30 mm × 30 mm × 30 mm
保存温度：-40 ℃ ~ +105 ℃
使用温度範囲：-20 ℃ ~ +60 ℃

メニュー言語の設定

1 設定メニューで [言語] を選びます

2 [日本語] または [英語] を選びます



[日本語]* 日本語で表示します。
[英語] 英語で表示します。

* 工場出荷時の設定です。

3 ⏪(戻る) ボタンを押します